

昭和四十四年四月十五日第三種郵便物認可

# 鳥取県公報

毎週火曜日及び  
金曜日発行  
(当日が休息日  
の場合は翌日)

## 目 次

- ◇ 告 示 昭和二十九年七月鳥取県告示第三百四十四号の一部改正  
結核予防法による指定医療機関の辞退  
臨時種畜検査の実施  
解除予定の保安林  
道路の位置の指定
- ◇ 選管告示 議会の議員及び知事の選挙権を有する者の五十分の一の  
数及び三分の一の数
- ◇ 公 告 危険物取扱主任者試験の合格者

## 告 示

### 鳥取県告示第四百十五号

昭和二十九年七月鳥取県告示第三百四十四号(准看護婦養成所の指定について)の一部を次のように改正する。

昭和四十四年七月八日

鳥取県知事 石 破 二 朗

「鳥取県倉吉市宮川町二五五の五」を「鳥取県倉吉市旭田町一八番地」に改める。

### 鳥取県告示第四百十六号

結核予防法(昭和二十六年法律第九十六号)第三十六条第四項の規定により、次のとおり指定医療機関の辞退があつたので、結核予防法施行規則(昭和二十六年厚生省令第二十六号)第二十六条の規定により告示する。

昭和四十四年七月八日

鳥取県知事 石 破 二 朗

辞 退 年 月 日	指定医療機関の名称	所 在 地
昭和四十四年五月三十日	山 根 医 院	東伯郡赤碓町大字赤碓一三〇五

### 鳥取県告示第四百十七号

家畜改良増殖法(昭和二十五年法律第二百九号)第四条第一項第二号に規定する臨時種畜検査を次のとおり実施するので、家畜改良増殖法施行規則(昭和二十五年農林省令第九十六号)第二条第二項の規定により告示する。

昭和四十四年七月八日

鳥取県知事 石 破 二 朗

検 査 期 日	検 査 場 所	家畜の種類
第一次 八月四日 午前九時から	鳥取市国安 鳥取県種畜場鳥取分場	肉用牛、豚
第二次 八月七日 午前九時から	東伯郡関金町 鳥取県立農業経営大学校	
第三次 八月十日 午前十時から		

鳥取県告示第四百十八号

次の保安林を解除予定の保安林にしたから、森林法（昭和二十六年法律第二百四十九号）第三十条の規定により告示する。

昭和四十四年七月八日

鳥取県知事 石 破 二 朗

一 解除予定に係る保安林の所在場所

気高郡気高町大字八束水字短尾二七〇八の五三

二 保安林として指定された目的

飛砂の防備

三 解除の理由

指定理由の消滅

鳥取県告示第四百十九号

建築基準法施行規則（昭和二十五年建設省令第四十号）第九条の規定による申請に基づき、次のとおり昭和四十四年六月二十七日道路の位置を指定したので、同規則第十条の規定により告示する。

その関係図面は、鳥取県土木部建築課において縦覧に供する。

昭和四十四年七月八日

鳥取県知事 石 破 二 朗

申請人の住所及び氏名	道路の位置の指定場所	道路の幅員及び延長
鳥取市吉成二三五番地 鳥取エフワン株式会社 代表取締役 吉岡利固	鳥取市大覚寺字井古田 一五の一 一五の九	幅員 五・〇メートル 延長二九・四〇メートル

選挙管理委員会告示

鳥取県選挙管理委員会告示第十一号

昭和四十四年六月二十日現在における鳥取県の議会の議員及び知事の選挙権を有する者の総数の五十分の一の数及び三分の一の数は次のとおりであるので、地方自治法（昭和二十二年法律第六十七号）第七十四条第四項並びに同法第七十五条第四項、第七十六条第四項、第八十条第四項、第八十一条第二項及び第八十六条第四項（地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和三十一年法律第六十二号）第八条第二項において準用する場合を含む。）において準用する同法第七十四条第四項の規定により告示する。

昭和四十四年七月八日

鳥取県選挙管理委員会委員長 加 藤 章

鳥取県において選挙権を有する者の総数の五十分の一の数	七、七九〇
鳥取県において選挙権を有する者の総数の三分の一の数	一六、一五〇
鳥取市選挙区において選挙権を有する者の総数の三分の一の数	三、四、一〇一
米子市選挙区において選挙権を有する者の総数の三分の一の数	二、四、六九

二五の一
二六の一
二六の一 地先水路

倉吉市選挙区において選挙権を有する者の総数の三分の一の総数  
 鳥取市選挙区において選挙権を有する者の総数の三分の一の総数  
 岩美郡選挙区において選挙権を有する者の総数の三分の一の総数  
 八頭郡選挙区において選挙権を有する者の総数の三分の一の総数  
 気賀郡選挙区において選挙権を有する者の総数の三分の一の総数  
 東伯耆郡選挙区において選挙権を有する者の総数の三分の一の総数  
 西伯耆郡選挙区において選挙権を有する者の総数の三分の一の総数  
 日南郡選挙区において選挙権を有する者の総数の三分の一の総数

公 告

昭和44年6月3日行なつた危険物取扱主任者試験の合格者は、次のとおりである。

昭和44年7月8日

鳥取県知事 石 破 二 朗

高畑 一男	中島 安寿	溝口 昌子	池元 律	藤田 昌子
中尾 肇	石井 千雄	中村 敏	谷口 博	桃木 真一
城戸 正実	以後 藤枝	鎌谷 良憲	中原 輝雄	小林 和美
広沢 満	林 幸伸	浜本 和美	東田 悦雄	長尾 可巳
藤田 泰博	岡本 芳夫	河瀬 弘	古田 一郎	岸田 米正
中道 善吉	寺嶋 昭彦	影日 幸光	佐々木政幸	鎌永 幸紀
河口 隆男	小椋 博	大西 純雄	亀谷 実雄	森木 信一
高木 猛	磯田 繁	大谷 要	木原美善男	平野 正義

安治 寿履	茂岡 幸治	林 田辺	昭富 一雄	山岡 中島	鏡一 房之	植田 沢	実 利彦	早瀬 松島	開介 義雄
茂岡 幸治	寛人 良徳	大谷 西垣	秀一 隆夫	梶川 幸雄	幸雄 肇	畑田 畑田	一 勝	西尾 猪口	實 幸雄
森田 勝幸	俊弘 俊弘	多内 中	杉資 幹男	浜本 西田	肇 肇	林 森山	昭 昭	平尾 猪口	長昌 幸雄
西本 俊弘	義人 裕子	砂原 中	好男 一弘	岸本 西田	孝則 一久	杉原 代孝	善友 隆	坂本 平尾	恒 長昌
幸山 裕子	信勝 二	下田 林	徳保 正男	浦富 中	弘 弘	菊本 中	隆文 隆	山田 村西	博行 誠一
笹原 裕子	信勝 二	渡辺 大前	和巳 等	石川 岡島	良雄 一郎	矢田 中	香 香	津村 徳田	和幸 忠男
山田 信勝	賢二 正和	渡辺 大前	和巳 等	野坂 久満	恭 亮	松本 中	英雄 香	徳田 山田	良計 忠男
松村 賢二	正和 哲郎	大前 和巳	和巳 等	池 久満	太 恭	青砥 松本	順一 香	武田 山田	武 良計
小浜 正和	哲郎 和夫	大前 和巳	和巳 等	猪股 一義	一 義	濱本 喜代司	彦 香	山田 武田	友二 良計
篠原 和夫	和夫 則和	桂原 森田	寛二 義	野坂 一義	太 恭	青砥 松本	順一 香	武田 山田	武 良計
森田 和夫	則和 俊二	上野 生田	長行 義	池 久満	太 恭	青砥 松本	順一 香	武田 山田	武 良計
高田 俊二	俊二 俊明	上野 生田	長行 義	池 久満	太 恭	青砥 松本	順一 香	武田 山田	武 良計
安田 俊明	俊明 清	生田 森永	孝夫 幸	池 久満	太 恭	青砥 松本	順一 香	武田 山田	武 良計
濱根 清	清 正嗣	森永 森脇	孝夫 幸	池 久満	太 恭	青砥 松本	順一 香	武田 山田	武 良計
本池 清	正嗣 森脇	森脇 宇城	孝夫 幸	池 久満	太 恭	青砥 松本	順一 香	武田 山田	武 良計
上田 正嗣	森脇 宇城	宇城 大西	孝夫 幸	池 久満	太 恭	青砥 松本	順一 香	武田 山田	武 良計
柳迫 哲志	忠 山本	大西 山本	康次 博	池 久満	太 恭	青砥 松本	順一 香	武田 山田	武 良計
宮川 忠	山本 俊藤	山本 俊藤	康次 博	池 久満	太 恭	青砥 松本	順一 香	武田 山田	武 良計
伊西 宮代	俊藤 三井	俊藤 三井	敏弘 敏彦	池 久満	太 恭	青砥 松本	順一 香	武田 山田	武 良計
本田 邦光	三井 河内	三井 河内	敏弘 敏彦	池 久満	太 恭	青砥 松本	順一 香	武田 山田	武 良計
西 弘	河内 稔樹	河内 稔樹	敏弘 敏彦	池 久満	太 恭	青砥 松本	順一 香	武田 山田	武 良計
船越 五吉	稔樹 稔樹	稔樹 稔樹	敏弘 敏彦	池 久満	太 恭	青砥 松本	順一 香	武田 山田	武 良計

西村	一雄	敏夫	章雄	篤実	享司	峰子
戸田	朝月	米原	青砥	福島		
庄来	松下	足立	遠藤	木村	富田	
新市	悦治	眺男	拓夫	剛雄	義夫	
田村	山崎	吹田	荒木	道祖	海堀	
秋博	久明	学	昇	幹穂	進	
生田	阿部	别所	二宮	米岡	國谷	
彰	秋治	德著	優	剛		
近藤	奥野	板井	阿部	梶田	内藤	
一朗	進市	眞澄	一彦	光輝	勇司	

昭和四年四月十五日第三種郵便物認可

発行所 鳥取県鳥取市東町一丁目 鳥

取 県

【定価一部一箇月三百円(送料を含む)】